

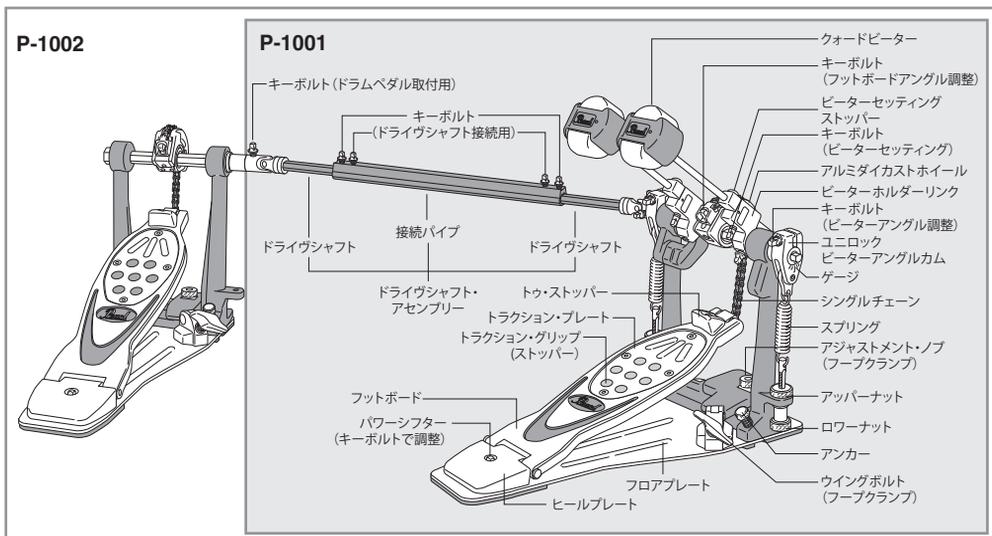
PEARL DOUBLE PEDAL COMPLETE

P-1002 / P-1002L

P-1001 (Primary Pedal Only)

取扱説明書

この度は、パールドラムペダルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひご覧下さい。



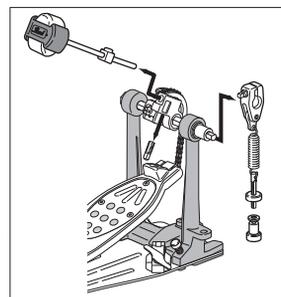
(注)

ドラムペダルはすべて工場出荷時にはシングルチェーン仕様になっています。

P-1001 (メインペダル) には、クォードビーターが1本標準装備されています。

<参考>

P-1001 ツインペダルシステムの左側にシングルペダル (P-1000) を接続すれば、ツインペダルが出来上がります。その際は、右図のようにシングルペダルから、クォードビーター、スプリング・アセンブリー、ユニロック・ビーターアングルカムを取り去ります。またノイズ防止のため、ビーターを固定するキーボルトもはずしておきます。



セッティング

サブペダル(左側)の右の接続部にドライブシャフトジョイントを差し込み、キーボルトで固定します(図1)。

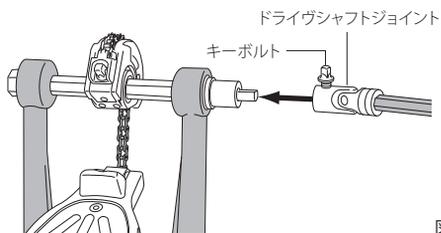


図1

メインペダル(右側)の左の接続部に、反対側のドライブシャフトジョイントを差し込み、キーボルトで固定します(図2)。

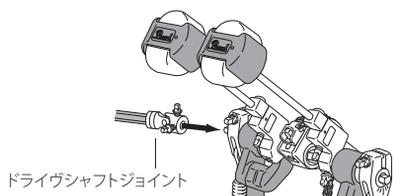
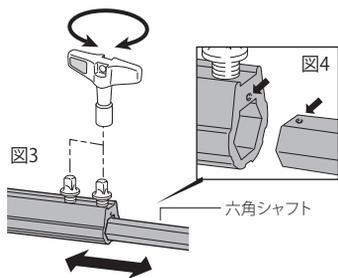


図2

ドライブシャフト・アセンブリーのキーボルトをゆるめ、六角シャフトをスライドさせることにより、左右のペダルの間隔を調整します。位置が決まったら、キーボルトを締めて固定します(図3)。



※左右のペダルに接続するドライブシャフト・アセンブリーは六角シャフトが中央のパイプにあらかじめ収納されていますがはずしてしまった場合には、それぞれの接続ポイントに合わせて接続して下さい(図4)。

コンバーチブル・シングルチェーン/ベルトドライブシステム

P-1002/1002L/1001 ドラムペダルは工場出荷時にシングルチェーン仕様となっていますが、同梱のベルトに付け替えることが出来ます。

チェーンの取り外し方

チェーンを取り外す際は、図のようにキーボルトとボルトをゆるめボルトと共に取り去ります(図5)。

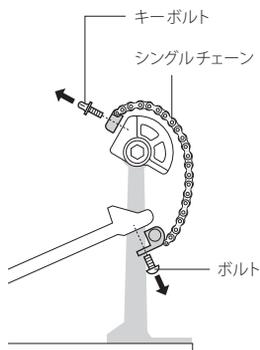


図5

ベルトの取り付け方

ベルトを取り付ける際は、まずベルトガイドをアルミダイカストホイールに当てがい、付属の六角レンチで固定します。ただし、締めすぎないようにご注意ください(図6)。

次にベルトをキーボルトとボルトで固定して下さい(図7)。

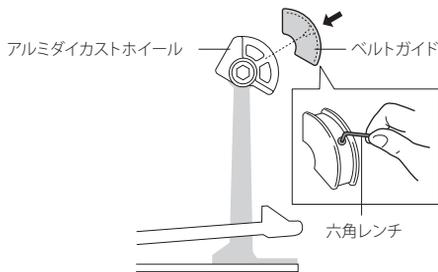


図6

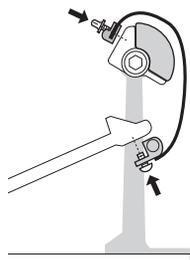


図7

クォードビート・ビーター

スタンダードなフェルト (A,B) とハードな樹脂 (C,D) の2タイプの素材を使用し、それぞれ異なる形状をもたせた4ウェイビーター。AとCは点でヘッドをヒットし、BとDはラインでヒットします。サウンドの違いをぜひお試しください (図8)。

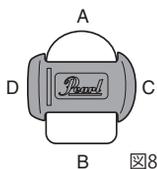


図8

ビーター面	表面素材	サウンド
A	フェルト	ハードで太いアタック
B	フェルト	丸く太いアタック
C	プラスチック	ハードで太いアタック
D	プラスチック	丸く太いアタック

ビーターのセッティング

ビーターシャフトをビーターホルダーリンクに差し込み、好みのポジションが決まったらキーボルトで固定します。またシャフトのズレや回転を防ぐため、ビーターシャフトに装着されたビーターセッティングストッパーをビーターホルダーリンクの溝にはめ込み、付属の六角レンチで固定します。このストッパーは、セッティングポジションをメモリーする際にも効果的です (図9,10)。

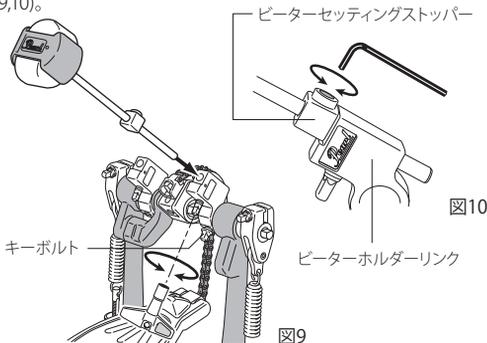


図10

ビーターアングルの調整

ユニロック・ビーターアングルカムのキーボルトをゆるめると、スプリングのテンションを変えずにビーターのアングルを無段階に調整することができます。アングルが決まったらキーボルトで固定して下さい。

また、ユニロック・ビーターアングルカムには、メモリーゲージが刻みこまれているため、セッティングの際に便利です (図11)。

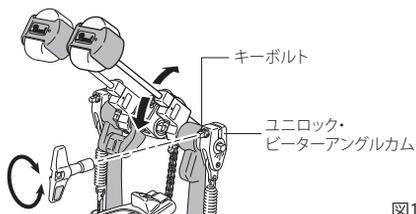


図11

フットボードアングルの調整

チェーン (またはベルト) のドライブコネクターのキーボルトをゆるめ、ドライブコネクターの取付位置を前後にスライドさせることにより、ビーターアングルを変えずにフットボードのアングルの3段階に変えられます。調整の際は、ビーターを取りはずしてから行って下さい。位置が決まったらキーボルトで固定しビーターを取り付けて下さい (図12)。

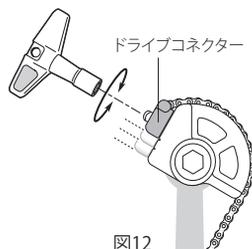


図12

スプリングテンションの調整

スプリングのテンションを強くしたい場合には、アッパーナットをゆるめてからローナットを締めます。弱くしたい場合には、それは逆の手順で行います。このシステムは、調整後のゆるみを防ぐためのダブルナット方式ですので、双方のナットを十分に締めてお使い下さい (図13)。

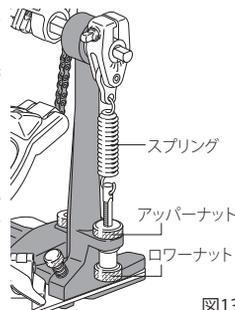


図13

“パワーシフター”

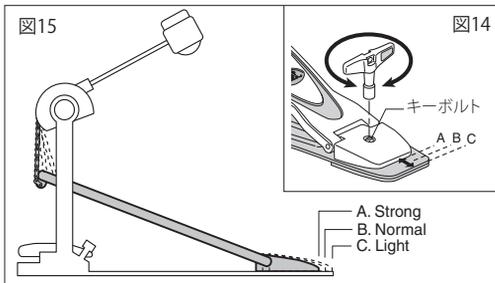
アクション・アジャストメントシステム

ヒールプレートのキーボルトをゆるめ、フットボードを前後にスライドさせることにより、フットボードのポジションを3通りに設定することができる、画期的なメカニズム。A、B、Cのいずれかの位置を選び、キーボルトで固定します。それぞれ異なるアクションが楽しめますので、ぜひお試しください (図10, 11)。

A. 踏み込んだパワーがダイレクトに伝わる、踏みごたえのあるポジション。

B. 素直なアクションが得られるノーマルポジション。

C. スピーディーなフットワークに対応するポジション。



注意 フットボードのヒールプレートは、必ずフロアプレートに固定して下さい。破損する場合があります

トラクション・プレートと トラクション・グリップ(ストッパー)の設定

フットボードに埋め込まれたトラクション・プレートのストッパー(トラクション・グリップ)は、個別にとりはずすことができるシステムのため、好みのパターンに変えて、フットボード表面の滑り具合の微調整をすることが可能です。ストッパー(トラクション・グリップ)をはずす際は、付属の六角レンチでトラクション・プレートをはずしてから行なって下さい(図16)。またフットボードのパターンを上下逆にする場合には、トラクション・プレートをはずし、方向を変えて再び固定して下さい(図16, 17)。

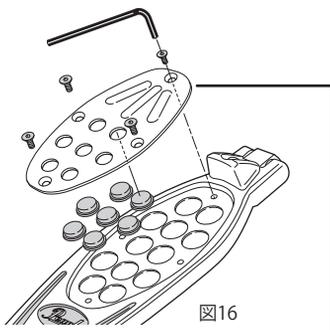


図16

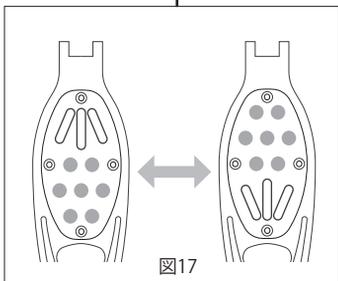


図17

注意 トラクション・プレートを取りはずした状態のままでは絶対に使用しないで下さい。ケガをする恐れがあります。

トゥ・ストッパー

つま先のズレを防ぐストッパー。不要の際は、キーボルトをゆるめ、取り去って下さい(図18)。

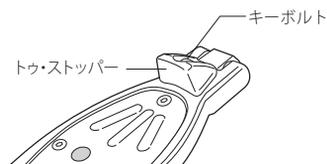


図18

フープクランプ・システム

クランプの支点の高さが調整できる新設計のフープクランプ・システム。バスドラムのフープをはさみ、ウイングボルトを締めてペダルを固定します。フープの厚さが合わない場合やペダルが浮き上がってしまう場合は、付属の六角レンチでアレンスクリュー(ホーローネジ)をゆるめ、アジャストメント・ノブをまわして調整して下さい。調整が終わったら、再びアレンスクリューを締めて固定して下さい(図19)。

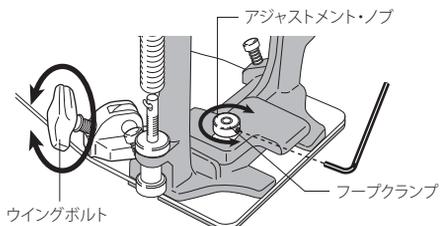


図19

また、サブペダル(左側)のフープクランプ部には、演奏中にノイズが出ないように、付属のプレートをはさんで固定して下さい(図20)。

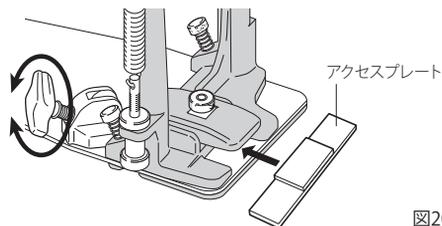


図20

アンカーボルト

ペダル本体の動きを防ぐためのストッパー。床面にキズをつける恐れがありますので、状況に応じてお使い下さい(図21)。

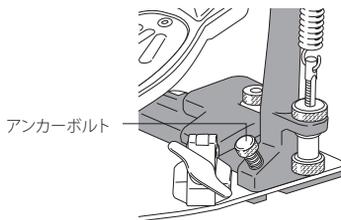
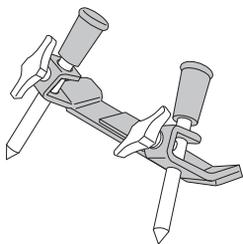


図21

PS-85ペダルスタビライザー(別売)

サブペダル(左側)の安定度を高める為に、フープクランプ部に取り付けて使用します。



PS-85

▲ 注意

- ◆ アレンスクリュー(ホーローネジ)がゆるんだ場合には、付属の六角レンチで締め直して下さい。また、可動部分には時折注油(グリス等)して下さい。
- ◆ フロアプレート裏面のゴムは、ほこりなどが付着するとグリップ力が落ちてしまいます。その場合は湿らせた布等で拭き取って下さい。

Pearl

パール株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1 電話：047-484-9111 (代)

<http://www.pearlgakki.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in Taiwan.

-0709-